

2025（令和7）年9月13日（土）
琉球新報朝刊23面（社会・1版）

WEB: (有料) <https://ryukyushimpo.jp/news/national/entry-4611414.html>

脾・腎臓同時に移植

脳死下、琉大病院で県内初

琉球大学病院（宜野湾市）は12日、愛知県の名古屋市立大学医学部付属東部医療センターで脳死と判定された20代男性から摘出された臍臓と腎臓を、60代男性患者に県内で初めて同時移植したと発表した。

ネットワークによると、
臓器提供した男性は重症
頭部外傷で、本人の意思
を示す書面はなく、家族
が心臓や肺、肝臓などの
提供を承諾した。2日午
後4時33分に同ネットワ
ークに連絡があり、3日
午後と4日午前の2回、
脳死判定があつた。6日

正午に摘出を始めた。
摘出された臓器のうち
脾臓と腎臓を琉大病院に
搬送し、1型糖尿病末期
腎不全の男性患者に移植
した。

たり透析とインスリン注射を必要としていた。順調に推移すれば、どちらも必要なくなる」という。
琉大病院での脳死下での臓器移植は7例目。難度が高い臓器移植については2021年に対応が可能と認定され、今回が初めての手術だった。
琉大病院の鈴木幹男院長は「これまで県外での手術を余儀なくされていた方々も、沖縄で診断から術後の長期フォローアップまでできる体制が整つた」としている。

2025（令和7）年9月14日（日）
沖縄タイムス朝刊21面（社会・1版）

WEB：（有料） <https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/1670171>

膵・腎臓 同時に移植

60代男性に 琉大病院、県内初

琉球大学病院（宜野湾市）は12日、脳死と判定された男性から提供された膵臓と腎臓を60代男性患者に同時に移植したと発表した。膵臓と腎臓の同時移植は県内初めて、同院での脳死下での臓器移植は7例目。

患者は長期の透析とインスリン注射を必要としているが、4日に脳死判定された。

たが、今後順調に推移すればどちらもせずに日常生活を送れる見込み。

日本臓器移植ネットワークによると、臓器提供した男性は20代。重症頭部外傷で名古屋市立大学医学部付属東部医療センターに入院していたが、4日に脳死判定された。

提供された臓器のうち、膵臓と腎臓を琉大病院へ搬送。6日夜から翌7日未明まで約8時間かけて手術した。琉大病院の鈴木幹男院長は「臓器移植は多くの診療科と多職種の医療スタッフの協働が必要。これまで県外での手術を余儀なくされていた方々も、沖縄で診断から術後の長期フォローアップまでできる体制が整つた」とコメントした。

（社会部・下里潤）